

各務原市議会議員大竹 大輔

かえで通信

平成26年4月
第3号

発行人
大竹大輔を育てる会
若竹会
会長 伏見 幸久



ご挨拶 春陽の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年度は、市議会議員としての活動に多大なるご理解、お力添えを頂き心より感謝申し上げます。大竹大輔
さて、いよいよ新年度がスタートいたしました！
当市の平成26年度予算は、市制施行50年の歴史を継承しつつも、若者の声、子育て世代の声、そして高齢者の声が、着実に形になっていく予算となっております。
私自身も「幸せを実感できるまち」の現実に向け、地域に根差した活動を1つ1つ丁寧にスピード感を持って取り組んで参ります。今後ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

平成26年第1回定例会3月議会 平成26年第1回定例会が、2月24日から3月24日までの29日間の会期で開催されました。浅野市長就任以来、初の本格予算編成となる今議会は、新年度予算をはじめ36案件となり全て可決されました。平成25年度予算と比較しますと、一般会計では、6.7%増、特別会計では2.3%増、企業会計では、3.4%増、総額で4.7%増となり、当市の3本柱である「誇り・活力・やさしさ」が具体化される内容となっております。また、未来への投資の観点から、子ども・子育て分野へも重点を置かれた予算となっております。大竹大輔の一般質問は次の通りです。大きく4項目について質問致しました。

質問: 当市の土砂災害対策について

答弁: 土砂災害警戒区域においては、ハザードマップの配布による周知をおこなっている。土砂災害特別警戒区域においては、それらに加え、建築物の構造規制など安全確保に必要な技術基準を満たしているか確認し許可をする措置を行っている。当市の土砂災害においては、地元住民の意向を踏まえ事業主体である岐阜県の意向を伺いながら検討していく。



質問: 地域コミュニティの充実について

答弁: 現在、本市には、常設型の活動拠点が「ふらっと」「ささえあいの家」2箇所のほか、公民館などの集会施設で定期的に開催するボランティアハウスが77箇所ある。地域住民がより主体的に、地域活動を行うためには、いつでも、誰でも気軽に立ち寄れる場が必要と考える。今後、新たな常設型の活動拠点開設に向け、他の地域住民に方に積極的に働きかける。



質問: 子ども・子育て支援について

答弁: 出産前の支援から、妊娠中、出産後、その後の子育てへと、切れ目なく支援することが大切である。また、子育てをするお父さんお母さんの健康づくりを支援することも、子育て支援同様、とても大切であると考え。新年度は、産後健診助成事業、母乳育児相談助成事業、一般不妊治療助成事業を新たに実施すると共に、ばあばの家・いじの家事業の拡充、その他、わくわく定住奨励金交付事業、こども医療費助成事業、小中学校冷暖房設備事業を実施し、子育て環境の充実と、若い世代に健康づくりにつとめ、働き盛り世代が定住し増加することを考える。



質問: 特別支援教育について

答弁: 新年度は、「人づくり講師」の増員、「特別支援アシスタント」は今まで以上に柔軟な対応ができる配置とする。さらに支援のありかたを充実させるために、学校、保護者、医療がより連携を強化する取り組みを実施し、これまでの巡回相談に加え、医師から専門的な助言を受けるなど、児童生徒により充実した支援を行う。

※質問の詳細は、ホームページに掲載しております！

各後援会長発足！

松竹会

松が丘では大竹市議会議員が誕生してもなく、私たちのまちに住み続ける若き議員

つつじ大竹大輔を育てる会

昨年2月の市議選で1883票を獲得し見事初当選を果しました。後援会組織

を私たちで育てようと、ごく自然に、老若男女が集い、特に同世代の若者達によって昨年12月に『松竹会』が誕生しました。この度の本格始動に際して、非力ですが、私が会長をお引き受けする事となりました。私は以前から大竹議員、浅野市長を存じており、共に若き溢れる情熱で地域行政にアグレッシブに取り組む姿を知っております。行政活動を通じて、住みよいまち住みたいまちにするために、大竹議員により一層の市政活動をしていただきたいと思っております。今後とも地域側も後援会組織を益々充実させたく、皆さま方々の温かいご支援と共に引続きのご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。



会長 松井 義孝

も未整備状況下での選挙戦でありました。その後、支援者の間で後援会組織づくりの話が進展し、発足することとなりました。「つつじ大竹大輔を育てる会」発足に当たり、会長選任につきましては、他に適任者が多数おられる中、僭越ではございますが、私がお受けすることとなりました。私が大竹議員を支援しますのは、1. 「若さ・情熱・行動力で真摯に取り組んでいる。」2. 「浅野市長・武藤衆議院議員・足立県会議員と節度を保ちつつ親密な関係を維持している。」3. 「全市会議員の中で唯一人、八木山校区の住民で最も同校区のことを愛し、真剣に考え、行動している。」等であります。私は大竹議員に市政でより一層頑張っていただくために強固な後援会組織にしたいと考えます。地域社会発展のために皆様の力強いご支援をお願い申し上げます。



会長 市原 廣幸